

[様式 2]

杉並区立神明中学校

令和 7 年度 卓球 部の活動指針・活動計画

令和 7 年 5 月 1 日

1 指導体制

顧問教諭等氏名		外部指導者氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	成田 夢子	浅利 至	クニヒロ卓球コーチ	約月 4
副顧問	芥屋 希			

2 部員数 1 年生… 7 人 2 年生… 5 人 3 年生… 6 人 合計 18 人
(令和 6 年 5 月現在)

3 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
「自主・自律」を学校教育目標の元、自ら行動を創造し、鍛錬を重ね、多様な考え
方を受け入れ、様々な環境でも共生できる人物を目指す。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標
都大会への出場、勝ち進みを目指して日々の練習に取り組む。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標
神明祭への参加を促して、地域との交流の場をもつ。

4 活動指針

- (1) 部活動の質と量の工夫
練習は、環境と部員の状況を観察し、適切な練習を集中して行う。
- (2) 練習や試合等の計画
半年に 1・2 回程度、競技力を高めるため他校と練習試合を行う。
中体連の大会に参加する。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成
挨拶の励行、正しい言葉遣い、返事、自ら進んでリーダーシップを取り、他の生徒
の模範となるようにする。
- (4) 生徒相互の人間関係
チームとして行動していく中で、協調性や責任感、お互いを尊重し合うことを育む。
- (5) 学習と部活動
学習と部活動の両立を定着させるとともに、勉強の意欲を高めるため、保護者と連
携をとりながら指導にあたる。

5 指導内容・方法

(1) 体罰・暴言等のない指導

科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドライン等を活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。

(2) 生徒間の暴力禁止

運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。

(3) 外部指導員の活用

クニヒロ卓球より月4回程度コーチが指導に来校している。

(4) 事故防止・安全配慮

生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

6 活動計画

(1) 活動日：月・火・木・土（日）

※季節や大会状況、長期休暇等により変動する

(2) 活動時間： 平日 16:00～18:00

休日 8:30～11:30

11:30～14:30

14:30～17:30

※季節や大会状況、長期休暇等により変動する

(3) 休養日：水・木・日

※季節や大会状況、長期休暇等により変動する

(4) 年間活動予定

学 期	月	内 容
1 学期	4	部活動紹介 部活動保護者会
	5	
	6	区選手権大会（シングルス・団体）
	7	都選手権大会（シングルス・団体）
	8	
2 学期	9	
	10	
	11	区新人大会（シングルス・団体）
	12	都新人大会（シングルス）

3 学期	1	都新人大会（団体）
	2	区研修大会（シングルス・団体）
	3	

（５）参加予定大会
 区中体連卓球大会
 都中体連卓球大会